

令和4年度 中央区立月島第二小学校 外部評価報告書
評価委員：則武一光委員 小西幸子委員 川原崎武委員 光成洋二委員 角山良敬委員 村上公一委員 加藤則道委員 小川美佐子委員 竹田都子委員
評価時期 令和5年2月
1 重点目標の評価 <u>重点目標1について<確かな学力を身に付けさせる教育活動></u> ○教育活動の報告及び学校評価アンケートから児童の学習状況や様子について理解することができた。コロナ禍のため、今年度も制限がある中で学校の先生方には児童のために力を尽していただき、感謝している。 ○コロナ前に比べると学校の様子を伺う機会が少なくなった。今後は状況も変わっていくと思うので、行事だけでなく日頃の教育活動の様子を伺う機会を増やしてほしい。 <u>重点目標2について<豊かな心を育む教育活動></u> ○コロナ禍で、今までできていたことができなくなったり、今までやっていなかったことができるようになったりしたことがある。そのような中で、児童が「やっぱり学校って楽しい！」と思えるように、引き続きケアを丁寧にしてほしい。 ○地域でも様々な行事が開催できるようになってきた。今年は2年延期されていた本祭りが行われる。水掛祭りは、学校にも協力してもらい、教職員には半纏を着て水を掛けてもらいたい。児童の中には、祭りの雰囲気を知らない子どももいる。学校と地域の関わりを深めながら本祭りを迎えたいため、協力をお願いしたい。 <u>重点目標3について<健やかな心と体を育む教育活動></u> ○学校や地域で行っていた行事が縮小する時期が続いたが、戻せる行事は戻し、今後はできるだけ実施できる方法を考えてもらいたい。学校でも地域でも児童が期待をもって勉強や遊びに取り組めるようにさせたい。 ○コロナ禍で、恒例行事だった賀詞交換やPTAの行事、地域行事での交流が少なくなったので、地域は寂しい思いを感じているところがある。今後、実施機会や方法を見直したうえで工夫して行うことで、地域と学校との関わりを深め、地域を活性化していきたい。 2 今後の改善に向けた意見 ○学校評価アンケートは保護者の目線から地域との関わりを評価しているが、地域の立場からの意見では関わりが減っていると受け止められている。地域あつての学校、学校あつての地域なので、つながりを大切にしてほしい。今年は2年延期されていた本祭りが行われるため、地域とも関わりをもてるようにしてほしい。 ○地域や保護者が学校の考えを広く理解していくために、情報発信の工夫と学校の様子が伺える機会の設定を今後もお願いしたい。